

令和7年度 名桜大学公開講座報告書

講 座 名	東屋部川ナイト・カヌー探検
申 請 者 氏 名	新垣裕治
講 師 名 (所属機関)	なぐまさーの会（カヌーガイド）・新垣裕治（名桜大学国際学群）
日 時	令和7年7月12日（土）18:00-20:00
講 座 の 概 要 及び所感	午後6時に集合場所になっている「緑のネットワーク公園」で講座を開始した。なぐまさーの会にカヌーの乗り方や下り方、漕ぎ方（パドリング）の指導及び安全管理について説明をして頂いてた。屋部川で見るの事のできる植物や動物のレクチャーと危険生物のタイワンハブにつての説明をした。その後、屋部川へカヌーを下ろし1組ずつなぐまさーの会の補助を得てカヌーに乗り込み川へ漕ぎだした。 参加者全員がカヌーに乗船してから、東屋部川の上流の「白銀橋」へ向かって漕ぎ進めた。カヌー経験者が多かったが、水面から周辺の景観を眺める普段ではあまりできない感触を満喫している様子であった。途中、河川の生き物の自然解説を聞きながら、また、操船の指導をしながら「白銀橋」へ漕ぎ進んだ。 途中、護岸の草刈をしてサガリバナやプリメリアを植栽している場所があり、この時期に開花の盛りを迎えるサガリバナの説明をした。ここには、通常見られるサガリバナに加え、希少な赤色の花を咲かせるサガリバナも植えられている。「白金橋」の近くの川幅が狭まっている川筋には、メヒルギやオヒルギのマングローブやヒメガマ等が植わっている。ここでは、マングローブや干潟の生き物についての説明をした。 「白銀橋」の橋下でカヌーを降りて暫く休憩をして、屋部川の下流へ向かって移動をし、カヌーへ乗り込んだ「緑のネットワーク公園」へ戻った。参加者にカヌーを公園まで運ぶのを手伝ってもらい今回の講座を終えた。 今回、は昨年よりも30分早い18時から開始をした。まだ明るく少し早すぎた感じがあった。ナイト・カヌーなのでもっと暗い方が良かったのではないかと感じた。
参 加 人 数	18名